

CEFR level	A1
受講者レベル	具体的な欲求を満足させるための、よく使われる日常的表現と基本的な言い回しは理解し、用いることができる。自分や他人を紹介することができ、住んでいるところや誰と知り合いであるか、持ち物などの個人情報について、質問をしたり、答えたりすることができる。もし、相手がゆっくりはっきりと話して、助けが得られるならば、簡単なやり取りをすることができる。
目標	ごく基本的な個人情報や家族情報、買い物、地元の地理、仕事など、直接的関係がある領域に関しては、文やよく使われる表現が理解できる。簡単で日常的な範囲なら、身近で日常の事柄について、単純で直接的な情報交換に応じることができる。
教科書	<i>Take it Easy</i> by Herman Bartelen. Published by Cengage Learning.

	前半 (月曜日、火曜日、水曜日)		後半 (木曜日、金曜日)	
週	ユニット	目標 (これができるようになる)	ユニット	目標 (これができるようになる)
1	導入	オリエンテーション • 自己紹介 • クラスルームイングリッシュを使う。	導入	オリエンテーション • 自己紹介 • クラスルームイングリッシュを使う。
2	Unit 1: You and Me	• 決まった表現を使って、初対面の人に挨拶する。 • 言いたいことを探すときに躊躇する表現を使う。	Unit 1: You and Me	• 知り合いになるために、現在時制の質問をしたり、答えたりする。
3	Unit 2: Growing Up	• 子供の頃のことや以前のことを尋ねるために、過去時制の質問をしたり、答えたりする。 • 相手の話に興味を示す表現を使ったり、補足質問をしたりする。	Unit 2: Growing Up	• 以前のことを尋ねるために過去時制の質問をしたり、答えたりする。 • 経験について尋ねるために現在完了時制の質問をしたり、答えたりする。
4	Unit 2: Growing Up	• 以前のことを尋ねるために過去時制の質問をしたり、答えたりする。 • 経験について尋ねるために現在完了時制の質問をしたり、答えたりする。	Unit 2: Growing Up	• 現在時制、過去時制、現在完了時制を使い分けて、身近な話題について質問したり、答えたりする。 • 相手の話に興味を示す表現を使ったり、補足質問をしたりする。
5	Unit 3: At Home and at School	• 頻度に関する質問をしたり、答えたりする。 • 変わったことを話し始めるのに、相手の気を引く表現を使う。 • 興味を示す表現を使ったり、補足質問をしたりして、相手の知らせに反応する。	Unit 3: At Home and at School	• howで始まる質問をしたり、答えたりする。 • “how+形容詞/副詞”で始まる質問をしたり、答えたりする。
6	Unit 4: Going Out	• 相手を誘って計画を立てる。 • 詳細な計画を立てるために質問したり、答えたり、確認したりする。	Unit 4: Going Out	• 相手と一緒に計画を立てる。 • 誘いを断る表現を使う。 • 代替案を提案する。
7	Unit 4: Going Out	• 最近の出来事について質問したり、答えたりする。 • 相手と一緒に計画を立てる。	Unit 5: Food and Drink	• 好き嫌いについて質問したり、答えたりする。 • レストランで注文するときに丁寧な表現を使う。
8	Unit 5: Food and Drink	• レストランで注文するときの質問をしたり、答えたりする。 • 食べ物の好き嫌いについて質問したり、答えたりする。	Unit 6: The Future	• 数種類の表現を使い分けて、未来のことについて質問したり、答えたりする。
9	Unit 6: The Future	• 数種類の表現を使い分けて、未来のことについて質問したり、答えたりする。 • 相手の意見に同意したり、反対したりする表現を使う。	Unit 6: The Future	• 未来のことについて質問する。 • ある出来事の確実性について述べる。
10	Unit 6: The Future	• 未来のことについて話すとき、確実性を表す表現を使って意見を述べる。 • 前期の復習	復習	• 自分について1分間話す

CEFR level	A1
受講者レベル	具体的な欲求を満足させるための、よく使われる日常的表現と基本的な言い回しは理解し、用いることができる。自分や他人を紹介することができ、住んでいるところや誰と知り合いであるか、持ち物などの個人情報について、質問をしたり、答えたりすることができる。もし、相手がゆっくりはっきりと話して、助けが得られるならば、簡単なやり取りをすることができる。
目標	ごく基本的な個人情報や家族情報、買い物、地元の地理、仕事など、直接的関係がある領域に関しては、文やよく使われる表現が理解できる。簡単で日常的な範囲なら、身近で日常の事柄について、単純で直接的な情報交換に応じることができる。
教科書	<i>Take it Easy</i> by Herman Bartelen. Published by Cengage Learning.

	前半 (月曜日、火曜日、水曜日)		後半 (木曜日、金曜日)	
週	ユニット	目標 (これができるようになる)	ユニット	目標 (これができるようになる)
11	導入	<ul style="list-style-type: none"> 自己紹介 夏休みについて話す 	導入	<ul style="list-style-type: none"> 自己紹介 前期の復習
12	Unit 7: Travel	<ul style="list-style-type: none"> 場所を尋ねる。 決まった表現を使って、場所を説明する。 決まった表現を使って、礼儀正しく会話を終わらせる。 	Unit 7: Travel	<ul style="list-style-type: none"> 道を尋ねる。 道順を教える。
13	Unit 7: Travel	<ul style="list-style-type: none"> 道を尋ねたり、教えたりする。 場所の説明をする。 	Unit 8: Entertainment	<ul style="list-style-type: none"> 映画館について質問したり、情報を与えたりする。 確認するために繰り返して言ってもらった表現を使う。
14	Unit 8: Entertainment	<ul style="list-style-type: none"> 娯楽について質問したり、答えたりする。 理由を述べて、相手に何かを勧める。 	Unit 8: Entertainment	<ul style="list-style-type: none"> 娯楽について質問したり、自分の意見を述べたりする。
15	Unit 9: Staying Healthy	<ul style="list-style-type: none"> 朝の習慣について述べる。 時間や金額など様々な数字の情報について質問したり、数字の情報を入れて話したりする。 	Unit 9: Staying Healthy	<ul style="list-style-type: none"> 料理のレシピを理解する。 料理を作るための指示をする。 様々なことについて、手順を説明する。
16	Unit 9: Staying Healthy	<ul style="list-style-type: none"> 健康について質問したり、意見を述べたりする。 習慣について述べる。 	Unit 10: People I Know	<ul style="list-style-type: none"> 決まった表現を使って、人の外見や服装を説明する。 強調する表現を使う。
17	Unit 10: People I Know	<ul style="list-style-type: none"> 人の性格や特徴を尋ねる質問をしたり、答えたりする。 二人以上の人を比較する。 	Unit 10: People I Know	<ul style="list-style-type: none"> 人について尋ねる質問をしたり、答えたりする。
18	Unit 11: Storytelling	<ul style="list-style-type: none"> 過去の出来事を述べる。 過去時制と過去進行時制を使い分けて、過去の出来事について順序立てて話す。 	Unit 11: Storytelling	<ul style="list-style-type: none"> 相手の話に反応する。 感情を表す表現を使う。
19	Unit 11: Storytelling	<ul style="list-style-type: none"> 過去の出来事を述べる。 相手の話を聞いて補足質問をする。 	Unit 11: Storytelling	<ul style="list-style-type: none"> 過去の出来事を述べる。 相手の話に反応する。 相手の話を聞いて補足質問をする。
20	Unit 12: Society	<ul style="list-style-type: none"> アドバイスを求めたり、アドバイスをしたりする。 様々な問題について、自分の意見を述べる。 	Unit 12: Society	<ul style="list-style-type: none"> 自分の意見を述べながら、様々な問題について話し合う。

CEFR level	A2
受講者レベル	ごく基本的な個人情報や家族情報、買い物、地元の地理、仕事など、直接的関係がある領域に関しては、文やよく使われる表現が理解できる。簡単で日常的な範囲なら、身近で日常の事柄について、単純で直接的な情報交換に応じることができる。
目標	仕事、学校、娯楽などで普段出会うような身近な話題について、標準的な話し方であれば、主要な点を理解できる。その言葉が話されている地域にいるときに起こりそうな、たいていの事態に対処することができる。身近な話題や個人的に関心のある話題について、筋の通った簡単な文章を作ることができる。
教科書	<i>Impact Conversation 2</i> by Kristen Sullivan and Todd Beuckens. Published by Pearson Longman.

	前半 (月曜日、火曜日、水曜日)		後半 (木曜日、金曜日)	
週	ユニット	目標 (これができるようになる)	ユニット	目標 (これができるようになる)
1	導入	オリエンテーション • 自己紹介 • クラスルームイングリッシュを使う。	導入	オリエンテーション • 自己紹介 • クラスルームイングリッシュを使う。
2	Unit 1: "Something Cool" — introductions	• 人が自己紹介するのを聞いて、興味深い詳細を理解する。 • 個人的な質問をしたり、答えたりする。	Unit 2: "My Humble Abode" — home	• 住んでいるところに関する会話を聞いて、普通と違う点を聞き取る。 • 住んでいるところについて話しながら、同意する点や同意しない点を述べる。
3	Unit 1: "Something Cool" — introductions	• 自己紹介をする。 • お互いを知るための質問をしたり、答えたりする。 【発音】 短い語を強調しない	Unit 2: "My Humble Abode" — home	• 住んでいるところについて話す。 • 様々な住まいについて話し合う。 【発音】 はっきり発音しない部分
4	Unit 3: "Food Cravings" — food	• 食べ物に関する会話を聞いて、話者が必ず食べたいものを聞き取る。 • 余暇の過ごし方について好き嫌いを述べる。	Unit 4: "Who We Are" — fashion	• ファッションに関する会話を聞いて、それが話者にとってどれほど重要か聞き取る。 • 決まった表現を使って、重要性について述べる。 • 生活スタイルを表現する動詞句を使う。
5	Unit 3: "Food Cravings" — food	• 余暇の過ごし方について話す。 • 大好きなことやうんざりしていることについて話す。 【発音】 音のつながり	Unit 4: "Who We Are" — fashion	• 学生生活で重要なことについて話す。 • 自分にとって重要なことと重要でないことについて話し合う。 【発音】 違う音に聞こえる部分
6	Unit 5: "Corporate Ladder" — work	• 職業に関する会話を聞いて、話者がなぜその仕事を選んだのか聞き取る。 • 決まった表現を使って、適性について述べる。 • 仕事に関する動詞句を使う。	Unit 6: "Another World" — travel	• 旅行に関する会話を聞いて、話者の勤める場所について理解する • 観光に関する動詞句を使って、相手に勧める。
7	Unit 5: "Corporate Ladder" — work	• 仕事について話す。 • 数種類の職業を比べ、どの職業が自分に合っているか話し合う。 【発音】 話の途中であることを示すイントネーション	Unit 6: "Another World" — travel	• 旅行について話す。 • 行ったことがある町を評価して、そこについて話し合う。 【発音】 短い語や重要でない語を強調しない
8	Unit 7: "Big Worry" — experiences	• 気候変化に関する会話を聞いて、話者が心配していることを聞き取る。 • 決まった表現を使って、心配していることについて述べる。 • 心配事に関する動詞句や形容詞句を使う。	Unit 8: "Unplugged" — health	• 健康に関する会話を聞いて、話者がどのように仕事と健康のバランスを取っているか聞き取る。 • 変化の必要性について述べる。 • 普通と違う行動を表現する動詞句を使う。
9	Unit 7: "Big Worry" — experiences	• 心配していることについて話す。 【発音】 音のつながり	Unit 8: "Unplugged" — health	• 変化の必要性について話す。 • 自分の生活に満足しているか話す。 【発音】 強調するための強勢
10	復習	前期で学んだことの復習	復習	自分について発表する

CEFR level	A2
受講者レベル	ごく基本的な個人情報や家族情報、買い物、地元の地理、仕事など、直接的関係がある領域に関しては、文やよく使われる表現が理解できる。簡単に日常的な範囲なら、身近で日常の事柄について、単純で直接的な情報交換に応じることができる。
目標	仕事、学校、娯楽などで普段出会うような身近な話題について、標準的な話し方であれば、主要な点を理解できる。その言葉が話されている地域にいるときに起こりそうな、たいていの事態に対処することができる。身近な話題や個人的に関心のある話題について、筋の通った簡単な文章を作ることができる。
教科書	<i>Impact Conversation 2</i> by Kristen Sullivan and Todd Beuckens. Published by Pearson Longman.

	前半 (月曜日、火曜日、水曜日)		後半 (木曜日、金曜日)	
週	ユニット	目標 (これができるようになる)	ユニット	目標 (これができるようになる)
11	導入	<ul style="list-style-type: none"> 自己紹介 夏休みについて話す 	導入	<ul style="list-style-type: none"> 自己紹介 前期の復習
12	Unit 9: "The Remote" — family	<ul style="list-style-type: none"> 家族に関する会話を聞いて、その問題点を聞き取る。 不満を言ったり、苛立ちを表現したりする。 不快な行動を表現する動詞句を使う。 	Unit 10: "Clean Freak" — personality	<ul style="list-style-type: none"> 掃除に関する会話を聞いて、掃除に対する話者の考えを聞き取る。 綺麗好きの度合いについて話す。 特定のものが大好きな人を表現する名詞句を使う。
13	Unit 9: "The Remote" — family	<ul style="list-style-type: none"> 家族の問題点について話す。 我慢できないことについて話す。 【発音】はっきり発音しない部分 	Unit 10: "Clean Freak" — personality	<ul style="list-style-type: none"> 大好きなことについて話す。 特定の事への執着度について話し合う。 【発音】話の途中であることを示すイントネーション
14	Unit 11: "No Such Thing" — beliefs	<ul style="list-style-type: none"> 奇妙な出来事に関する会話を聞いて、話者の考えを聞き取る。 同意や驚きを表現する。 超常現象を表現する名詞句を使う。何かを信じていることを表現する動詞句を使う。 	Unit 12: "Like Chalk and Cheese" — relationships	<ul style="list-style-type: none"> 人間関係に関する会話を聞いて、話者が抱えている問題点を聞き取る。 人間関係についてアドバイスする動詞句を使う。 不快な行動を表現する形容詞句を使う。
15	Unit 11: "No Such Thing" — beliefs	<ul style="list-style-type: none"> 自分が信じていることについて話す。 自分が信じている超常現象について話し、相手の話に対して反応する。 【発音】音のつながり 	Unit 12: "Like Chalk and Cheese" — relationships	<ul style="list-style-type: none"> 人間関係について話す。 人間関係についてアドバイスする。 【発音】強調するための強勢
16	Unit 13: "Hang in There" — education	<ul style="list-style-type: none"> 外国語に関する会話を聞いて、話者が外国語を学ぶうえで抱えている問題点を聞き取る。 できること、できないことを述べる。 一般的な作業や行動を表現する動詞句を使う。 	Unit 14: "The Time of my Life" — memories	<ul style="list-style-type: none"> 高校時代に関する会話を聞いて、話者の良い思い出と辛い思い出を聞き取る。 良い経験とひどい経験を紹介する。 記憶に残る出来事を表現する動詞句を使う。
17	Unit 13: "Hang in There" — education	<ul style="list-style-type: none"> 何かを学ぶことについて話す。 するのが難しいことについて話し合う。それについて、相手を励ます。 【発音】声のトーン 	Unit 14: "The Time of my Life" — memories	<ul style="list-style-type: none"> 思い出について話す。 自分の良い経験とひどい経験について話す。 【発音】短縮形を使う
18	Unit 15: "It's a Guy Thing" — hobbies	<ul style="list-style-type: none"> 特別なイベントに関する会話を聞いて、その詳細を理解する。 勧誘に応じたり断ったりする。 余暇の過ごし方を表現する動詞句を使う。 	Unit 16: "Role Model" — inspiration	<ul style="list-style-type: none"> 尊敬する人に関する会話を聞いて、誰を、なぜ尊敬しているか聞き取る。 尊敬の気持ちを表す。 尊敬に値する行動や性質を表現する動詞句と形容詞句を使う。
19	Unit 15: "It's a Guy Thing" — hobbies	<ul style="list-style-type: none"> 余暇の過ごし方について話す。 することや練習することが好きな活動について話し合う。 相手を誘ったり、相手の誘いに対応したりする。 【発音】平叙文を疑問にするイントネーション 	Unit 16: "Role Model" — inspiration	<ul style="list-style-type: none"> 尊敬している人について話したり、意見を出し合ったりする。 【発音】確認するための質問のイントネーション
10	復習	後期で学んだことの復習	復習	後期で学んだことの復習

CEFR level	B1
受講者レベル	仕事、学校、娯楽などで普段出会うような身近な話題について、標準的な話し方であれば、主要な点を理解できる。その言葉が話されている地域にいるときに起こりそうな、たいていの事態に対処することができる。身近な話題や個人的に関心のある話題について、筋の通った簡単な文章を作ることができる。
目標	自分の専門分野の技術的な議論も含めて、抽象的な話題でも具体的な話題でも、複雑な文章の主要な内容を理解できる。母語話者とはお互いに緊張しないで普通にやり取りができるくらい流暢かつ自然である。幅広い話題について、明確で詳細な文章を作ることができる。
教科書	<i>Academic Listening and Speaking 2</i> by Alastair Graham-Marr. ABAX ELT Publishing.

	前半 (月曜日、火曜日、水曜日)		後半 (木曜日、金曜日)	
週	ユニット	目標 (これができるようになる)	ユニット	目標 (これができるようになる)
1	導入	オリエンテーション • 自己紹介	導入	オリエンテーション • 自己紹介
2	Unit 1: The Pacific Rim (International Relations) 環太平洋地域 (国際関係)	• 環太平洋地域に関する講義を聞いてメモを取り、要約する。 【発音】弱い母音	Unit 2: Population Growth (Environment) 人口増加(環境)	• 人口増加に関する講義を聞いてメモを取り、要約する。 【発音】音のつながり
3	Unit 1: The Pacific Rim (International Relations) 環太平洋地域 (国際関係)	• 環太平洋地域に関する文章を読んで、要点を理解する。 • 講義を聞いてメモを取り、その前に読んだ文章をどのように支持しているかを説明する。 • 事実と意見の違いを読み取り、それについて話し合う。	Unit 2: Population Growth (Environment) 人口増加(環境)	• 人口増加に関する文章を読んで、要点を理解する。 • 講義を聞いてメモを取り、その前に読んだ文章に対する疑問点を説明する。 • 筆者の目的を理解し、それについて話し合う。
4	Unit 1: The Pacific Rim (International Relations) 環太平洋地域 (国際関係)	• 新しく学んだ語彙を自分の言葉で説明する。 • 環太平洋地域の貿易について様々な側面から話し合う。 • 環太平洋地域についてプレゼンテーションをする。	Unit 2: Population Growth (Environment) 人口増加(環境)	• 新しく学んだ語彙を自分の言葉で説明する。 • 人口増加について様々な側面から話し合う。 • ある国あるいは都市の人口増加についてプレゼンテーションをする。
5	Unit 3: Unmanned Missions (Space) 無人ミッション (宇宙)	• 無人宇宙ミッションに関する講義を聞いて、メモを取り、要約する。 【発音】はっきり発音しない部分と音のつながり	Unit 4: Human Society (Anthropology) 人間社会(人類学)	• 人間社会に関する講義を聞いてメモを取り、要約する。 【発音】内容による語の強弱
6	Unit 3: Unmanned Missions (Space) 無人ミッション (宇宙)	• 無人宇宙ミッションに関する文章を読んで、要点を理解する。 • 講義を聞いてメモを取り、その前に読んだ文章にどのような情報を加えているかを説明する。 • 筆者の目的を理解し、それについて話し合う。	Unit 4: Human Society (Anthropology) 人間社会(人類学)	• 人間社会学に関する文章を読んで、要点を理解する。 • 講義を聞いてメモを取り、その前に読んだ文章に対する疑問点を説明する。 • 考え方やコンセプトの定義を読み取り、それについて話し合う。
7	Unit 3: Unmanned Missions (Space) 無人ミッション (宇宙)	• 新しく学んだ語彙を自分の言葉で説明する。 • 無人宇宙ミッションについて、様々な側面から話し合う。 • 無人宇宙ミッションについてプレゼンテーションをする。	Unit 4: Human Society (Anthropology) 人間社会(人類学)	• 新しく学んだ語彙を自分の言葉で説明する。 • 人間社会学について、様々な側面から話し合う。 • 国、文化、民族、サブカルチャーについてプレゼンテーションをする。
8	Unit 5: The Age of Exploration (History) 大航海時代(歴史)	• 大航海時代に関する講義を聞いて、メモを取り、要約する。 【発音】内容による語の強弱	Unit 6: Realism and Cubism (Fine Arts) リアリズムとキュービズム(美術)	• リアリズム運動に関する講義を聞いて、メモを取り、要約する。 【発音】音のつながり
9	Unit 5: The Age of Exploration (History) 大航海時代(歴史)	• 大航海時代に関する文章を読んで、要点を理解する。 • 講義を聞いてメモを取り、その前に読んだ文章をどのように支持しているかを説明する。 • 裏付けの情報を読み取り、それについて話し合う。	Unit 6: Realism and Cubism (Fine Arts) リアリズムとキュービズム(美術)	• キュービズム運動に関する文章を読んで、要点を理解する。 • 講義を聞いてメモを取り、その前に読んだ文章にどのような情報を加えているかを説明する。 • 裏付けの情報を読み取り、それについて話し合う。
10	Unit 5: The Age of Exploration (History) 大航海時代(歴史)	• 新しく学んだ語彙を自分の言葉で説明する。 • 大航海時代について、様々な側面から話し合う。 • 探検家や昔の貿易ルートについてプレゼンテーションをする。	Unit 6: Realism and Cubism (Fine Arts) リアリズムとキュービズム(美術)	• 新しく学んだ語彙を自分の言葉で説明する。 • リアリズムとキュービズムの様々な美術作品について話し合う。 • リアリズムあるいはキュービズムの画家や美術作品についてプレゼンテーションをする。

CEFR level	B1
受講者レベル	仕事、学校、娯楽などで普段出会うような身近な話題について、標準的な話し方であれば、主要な点を理解できる。その言葉が話されている地域にいるときに起こりそうな、たいていの事態に対処することができる。身近な話題や個人的に関心のある話題について、筋の通った簡単な文章を作ることができる。
目標	自分の専門分野の技術的な議論も含めて、抽象的な話題でも具体的な話題でも、複雑な文章の主要な内容を理解できる。母語話者とはお互いに緊張しないで普通にやり取りができるくらい流暢かつ自然である。幅広い話題について、明確で詳細な文章を作ることができる。
教科書	<i>Academic Listening and Speaking 2</i> by Alastair Graham-Marr. ABAX ELT Publishing.

	前半 (月曜日、火曜日、水曜日)		後半 (木曜日、金曜日)	
週	ユニット	目標(これができるようになる)	ユニット	目標(これができるようになる)
11	導入	<ul style="list-style-type: none"> 自己紹介 前期の復習 	導入	<ul style="list-style-type: none"> 自己紹介 前期の復習
12	Unit 7: Oceanography (Marine Sciences) 海洋学(海洋科学)	<ul style="list-style-type: none"> 海洋学に関する講義を聞いてメモを取り、要約する。 【発音】発音が消える子音 	Unit 8: The Flipped Classroom (Education) 反転授業(教育)	<ul style="list-style-type: none"> 反転授業に関する講義を聞いてメモを取り、要約する。 【発音】音が消える部分と音のつながり
13	Unit 7: Oceanography (Marine Sciences) 海洋学(海洋科学)	<ul style="list-style-type: none"> 主要な海流に関する文章を読んで、要点を理解する。 講義を聴いてメモを取り、その前に読んだ文章にどのような情報を加えているかを説明する。 裏付けの情報を読み取り、それについて話し合う。 	Unit 8: The Flipped Classroom (Education) 反転授業(教育)	<ul style="list-style-type: none"> 反転授業に関する文章を読んで、要点を理解する。 講義を聞いてメモを取り、その前に読んだ文章に対する疑問点を説明する。 筆者の目的を理解し、それについて話し合う。
14	Unit 7: Oceanography (Marine Sciences) 海洋学(海洋科学)	<ul style="list-style-type: none"> 新しく学んだ語彙を自分の言葉で説明する。 海洋学について、様々な側面から話し合う。 海洋学または代表的な海流についてプレゼンテーションをする。 	Unit 8: The Flipped Classroom (Education) 反転授業(教育)	<ul style="list-style-type: none"> 新しく学んだ語彙を自分の言葉で説明する。 反転授業について、様々な側面から話し合う。 教育用のウェブサイトや学校の教科についてプレゼンテーションをする。
15	Unit 9: The Cognitive Revolution (Psychology) 認知革命(心理学)	<ul style="list-style-type: none"> 認知革命に関する講義を聞いてメモを取り、要約する。 【発音】はっきり発音しない部分、音が消える部分、音のつながり 	Unit 10: Inflation (Economics) インフレ(経済)	<ul style="list-style-type: none"> インフレに関する講義を聞いてメモを取り、要約する。 【発音】はっきり発音しない部分、音が消える部分、音のつながり
16	Unit 9: The Cognitive Revolution (Psychology) 認知革命(心理学)	<ul style="list-style-type: none"> 認知革命に関する文章を読んで、要点を理解する。 講義を聴いてメモを取り、その前に読んだ文章をどのように支持しているかを説明する。 裏付けのための例を読み取り、それについて話し合う。 	Unit 10: Inflation (Economics) インフレ(経済)	<ul style="list-style-type: none"> インフレに関する文章を読んで、要点を理解する。 講義を聞いてメモを取り、その前に読んだ文章に対する疑問点を説明する。 因果関係を読み取り、それについて話し合う。
17	Unit 9: The Cognitive Revolution (Psychology) 認知革命(心理学)	<ul style="list-style-type: none"> 新しく学んだ語彙を自分の言葉で説明する。 認知革命について、様々な側面から話し合う。 人間の認知あるいは言語を教えられた動物についてプレゼンテーションをする。 	Unit 10: Inflation (Economics) インフレ(経済)	<ul style="list-style-type: none"> 新しく学んだ語彙を自分の言葉で説明する。 インフレについて、様々な側面から話し合う。 ハイパーインフレのケースあるいは地域のインフレ率・デフレ率についてプレゼンテーションをする。
18	Unit 11: The Challenger Disaster (Engineering) チャレンジャー号爆発事故(工学)	<ul style="list-style-type: none"> チャレンジャー号爆発事故に関する講義を聞いてメモを取り、要約する。 【発音】文法や規則性から欠けている単語を推測する 	Unit 12: Ecosystems (Biology) 生態系(生物学)	<ul style="list-style-type: none"> 生態系に関する講義を聞いてメモを取り、要約する。 【発音】文法や規則性から欠けている単語を推測する
19	Unit 11: The Challenger Disaster (Engineering) チャレンジャー号爆発事故(工学)	<ul style="list-style-type: none"> チャレンジャー号爆発事故に関する文章を読んで、要点を理解する。 講義を聞いてメモを取り、その前に読んだ文章をどのように支持しているかを説明する。 因果関係を読み取り、それについて話し合う。 	Unit 12: Ecosystems (Biology) 生態系(生物学)	<ul style="list-style-type: none"> 食物連鎖に関する文章を読んで、要点を理解する。 講義を聴いてメモを取り、その前に読んだ文章にどのような情報を加えているかを説明する。 偏った情報を理解し、それについて話し合う。
20	Unit 11: The Challenger Disaster (Engineering) チャレンジャー号爆発事故(工学)	<ul style="list-style-type: none"> 新しく学んだ語彙を自分の言葉で説明する。 チャレンジャー号爆発事故について、様々な側面から話し合う。 コロンビア号の惨事あるいはその他の宇宙飛行の事故についてプレゼンテーションをする。 	Unit 12: Ecosystems (Biology) 生態系(生物学)	<ul style="list-style-type: none"> 新しく学んだ語彙を自分の言葉で説明する。 生態系について、様々な側面から話し合う。 生態系または動物が環境の中でどのように生息しているかについてプレゼンテーションをする。